

## 7 鹿児島が誇れる人づくり

鹿児島で生まれ育った若者が鹿児島の歴史や伝統・文化などを理解し、ふるさとに誇りを持てるよう郷土教育の充実を図るとともに、若年者の県内就職やU I ターン就職の促進、デジタル人材の確保や外国人材の受入れのほか、移住希望者へのきめ細やかな対応、将来的な移住につながる関係人口の創出に向けたワーケーションの推進や副業・兼業人材の活用などの取組を推進

### 〔人材の確保〕

- \* 高校生、大学生の県内就職やU I ターン就職の促進を図るため、学生や保護者等を対象とした合同企業説明会の開催や就職情報提供サイト「かごJob」のリニューアルなどを実施
- \* 県外に進学・就職した方々に向けて鹿児島で働き・暮らす魅力を発信するLINEアカウント「もどってみらんけ?かごしまに!」(通称「もどかご!」)を開設
- \* 県内大学生が制作した地元企業のPR動画による情報発信
- \* 小・中学生を対象にした「ものづくり」の魅力を直に感じてもらう半導体関連企業の見学会を開催(R6予定)
- \* 工業系高校生等を対象にした半導体関連企業等による企業説明会や出前授業を開催
- \* 県外大学生の県内就職を支援するため、県と県外大学相互の連携・協力に向けた就職支援協定を締結
- \* 県内企業の採用力向上のため、専門家による県内企業のインターンシッププログラムの作成・改善の支援を実施
- \* 県内で行うインターンシップや採用面接に参加する県外の学生等に交通費等を支給する県内企業等を支援
- \* 伝統的工芸品産業(本場大島紬, 川辺仏壇)の後継者の育成・確保を図るため、県外ものづくり系学校の学生等のインターンシップやマッチングの機会の創出に向けた取組を実施

### 【再掲】

- \* 移住希望者に対する相談体制の強化、本県への移住のPRを実施
- \* ワーケーションに関心がある県外企業と県内市町村とのマッチングイベントを開催
  - 参加企業 30社 参加自治体 8市町村(R5)
- \* 本県の産業人材の確保・育成を図るため、PwCコンサルティング合同会社と協定を締結(R5.11)
- \* 都市圏から地方への人材還流と、都市圏のプロフェッショナル人材を活用した地方企業の経営革新を促進するため、副業・兼業を含むプロフェッショナル人材の採用に向けた求人相談会や経営者セミナー等を実施
- \* 人口急減地域において、地域産業の担い手を確保するための特定地域づくり事業を行う事業協同組合を認定
  - 認定7件(R3~R5)



移住相談会(大阪)

## [外国人材の受入環境の整備]

- \* ベトナム・ハイズオン省との連携協定に基づき、人材の確保については、ハイズオン省送り出し機関と県内監理団体とのマッチングを実施
- \* 農業人材等の安定的な確保を図るため、ベトナム国立農業大学と人材確保・育成等に関する連携協定を締結（R5.7）
- \* 県内に住むベトナム人技能実習生や留学生等に、テト（旧正月）を祝い、故郷を懐かしんでもらう「ベトナム・テト（旧正月）フェスタ」を開催（R3.2, R4.2, R5.1, R6.2）【再掲】
- \* 県民のベトナムへの関心や理解を深めること等を目的として、ベトナム観光パネル展、ベトナム産食品の販売等を行う「ベトナムフェアin鹿児島」を開催（R3.6, R4.7, R5.11）
- \* 外国人が地域で安心して働き、暮らすことができるよう、多文化共生や日本語教育等について助言・支援等を行う多文化共生アドバイザーを市町村等へ派遣するとともに、外国人総合相談窓口を設置し、在留外国人に対する多言語（24言語）での情報提供や相談対応を実施



ベトナムフェアin鹿児島2023



令和5年度ベトナム・テトフェスタ

## [女性活躍支援]

- \* 本県におけるジェンダー平等と女性活躍の取組を加速するため「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」（事務局：内閣府）に参加（R5.12～）
- \* 地域や企業におけるジェンダーギャップの解消に向けた気運醸成を図るため、県民を対象とした啓発イベントの開催や事業所等へのアドバイザー派遣を行うなど、「かごしまジェンダー平等推進プロジェクト」を展開（R3～R5）
- \* 職場におけるジェンダー平等の実現を図るため、県内企業に「県女性活躍推進宣言企業」への登録を促進するとともに、女性の登用や継続就業に積極的に取り組む企業を表彰する「県女性活躍推進優良企業知事表彰」を実施
  - 県女性活躍推進宣言企業登録 206件（R6.5末）
  - 県女性活躍推進優良企業知事表彰 9団体（R2～R5）
- \* 県立楠隼中・高校において、トップリーダー教室やシリーズ宇宙学などの特色ある魅力的な教育を受けられるようにするため、共学化する方針を教育委員会で決定
- \* 県における女性職員の活躍に向けた取組を実施
 

県職員採用者に占める女性職員の割合	R2.4.1	41.7%	→	R6.4.1	46.2%
管理的地位にある女性職員の割合	R2.4.1	9.7%	→	R6.4.1	14.0%
課長補佐及び課長補佐級の女性職員の割合	R2.4.1	11.4%	→	R6.4.1	23.4%
- \* 性別に起因する悩み等の相談対応を実施するとともに、「生理の貧困」対策の一環として、カクイックス交流センターやくらし・しごとサポートセンターにおいて相談者等に生理用品を無償提供



県女性活躍推進優良企業知事表彰



## 〔高齢者活躍支援〕

- \* 地域活動に意欲のある高齢者に対し、地域の担い手として参加してもらい、地域の強みの再発見や課題解決について話し合うグループワークを開催
- \* これまで30人以上となっていた老人クラブの活動費への補助対象を、過疎地域などの地理的条件等を満たす30人未満のクラブにも拡充
- \* 県老人クラブ連合会が行う、指導者研修会の開催など後継リーダー育成のための取組を支援

## 〔障害者活躍支援〕

- \* 本県では初となる全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催  
→ 17競技（正式競技14 オープン競技3）、  
参加者 約9万人
- \* 障害者スポーツの認知度向上・普及拡大を推進
- \* 障害者スポーツに親しむ環境づくりを進めるため、体験教室の開催、審判員の養成などを実施
- \* 障害者就労施設の農業分野への参入等を支援し、農福連携の取組を推進  
→ 農福連携に取り組む施設数：193施設（R5.4時点）
- \* 障害者が芸術文化を享受し、多様な活動を行うことができるよう、芸術文化活動を行う障害者やその家族、事業所等を支援する「障害者芸術文化活動支援センター」を設置（R4.7）
- \* 重度心身障害者医療費助成制度への対応（R6.7～自動償還払い方式に変更予定）【再掲】
- \* 障害者への合理的配慮の提供に係る県民・事業者の認知度向上に向けた普及啓発を実施
- \* 「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に合わせ、来県者への心のこもったおもてなしを呼びかけるチラシを配布し、「心のバリアフリー」を周知



燃ゆる感動かごしま大会  
ボッチャ競技



ノウフクマルシェ開催

## 〔教育環境の整備〕

- \* 県立楠隼中・高校の共学化、通学生受入れについて段階的に開始する方針を教育委員会で決定
- \* 令和7年度からの単位認定可能な遠隔授業の実施に向け、課外授業等のトライアル配信を実施予定（R6）
- \* 県内のデジタル関連企業等との連携を図り、デジタル人材の育成を支援
- \* 県立高校における教育用タブレットパソコンを整備
- \* 高等部を有する県立鹿児島南特別支援学校を開校（R5.4）【再掲】
- \* 志布志市の伊崎田学園の敷地内に新しい特別支援学校を設置する方針を決定（R6.2）【再掲】
- \* 特別支援学校の伊佐・湧水地区、始良地区への分置に向けた検討【再掲】
- \* 離島特別支援教育コーディネーターを配置し、特別支援学級担任等の指導に対する助言や、町教育委員会と連携した小中学校等における支援体制づくりを実施【再掲】
- \* 令和7年4月の開校を目指し、開陽高等学校の敷地内に本県初の夜間中学「県立いろは中学校」を設置する方針を決定【再掲】
- \* 路線バス等の減便等による通学定期代の負担増への支援
- \* 学校における様々な事案に対応するため、弁護士相談体制（スクールロイヤー制度）を整備

## 8 県民が安心できる行政づくり

山積する様々な課題について、県民との対話や現場の実態を把握した職員との政策論議を重ね、政策決定の透明化に努め、県民の納得性を高め、県民が安心できる行政づくりの取組を推進

### [透明で開かれた県政運営]

- \* 社会経済情勢の変化等を踏まえ、県政全般の基本となる「かごしま未来創造ビジョン」を改訂 (R4.3)  
各地域における特有の課題や取組の基本方向などを示す「地域振興の取組方針」を改訂 (R5.3)
- \* 全市町村で「知事とのふれあい対話」を開催 → 参加者 578人、傍聴者 1,959人
- \* 公文書の適正な管理等を図るため、公文書管理条例を制定 (R5.3)

### [職員の多様で柔軟な働き方や能力向上の推進]

- \* 目指すべき職員像や人材育成に関する基本的な方向性等を定めた人財育成ビジョンを策定 (R6.3)
- \* 育児休業取得経験者による座談会の開催や管理職員の意識改革等の取組を実施  
男性職員の育児休業取得率 R2 8.5% → R5 64.4%
- \* 県における女性職員の活躍に向けた取組を実施【再掲】

県職員採用者に占める女性職員の割合	R2.4.1	41.7%	→	R6.4.1	46.2%
管理的地位にある女性職員の割合	R2.4.1	9.7%	→	R6.4.1	14.0%
課長補佐及び課長補佐級の女性職員の割合	R2.4.1	11.4%	→	R6.4.1	23.4%
- \* 広報スキルの向上のための全職員向け研修等を実施 (R6~)

### [災害への対応, 防災・減災対策の充実]

- \* 令和5年6月奄美地方大雨被害や福岡ノ場噴火による軽石漂着・漂流等への対応
- \* 市町や関係機関と連携した総合防災訓練の実施
- \* 国や関係県などと連携した国民保護訓練の実施  
屋久島町において実動・図上訓練を実施 (R6.1)
- \* 能登半島地震による被災地の復旧・復興に向けた支援として、国、全国知事会等からの要請に基づき県職員176名を派遣 (R6.5末時点)



令和6年度総合防災訓練 (奄美市)

### [家畜伝染病への対応]

- \* 高病原性鳥インフルエンザの発生に対し、迅速なまん延防止対策や養鶏農家に対する支援を実施
- \* 九州内における豚熱発生を受け、ワクチンの接種体制を整備するとともに、生産者の負担軽減のため、ワクチン初回接種に係る手数料を支援 (初回接種完了, R5.12)
- \* 高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の家畜防疫対策を着実に推進するため、「家畜防疫対策課」を設置 (R6.4)